



瀬棚小学校の生徒が904本の木を植樹 「B&G海を守る植樹教育事業」を開催

5月24日（金）、旧瀬棚商業高等学校前緑地広場において、B & G「海を守る植樹教育事業」が行われました。

この事業は、B & G財団において体験型の環境教育を通じて自然の役割を学び、環境保全の意識を高めるとともに、自然を守り共に生きていく心を育むことを目的に全国で展開されています。

当日は、瀬棚小学校の児童98名が、せたな町に植生するミズナラやオオヤマザクラなどといった18種類の「ふるさとの木」904本を植樹しました。

児童たちは、宮脇昭さん（詳しくは下記※参照）が考案した「宮脇方式」という数種類の樹種を隣同士に同じ苗が並ばないように、縦・横バラバラに植樹する方法で植樹しました。このほうが、より自然の森に近い状態となり、強くたくましく育つからです。

また、この宮脇方式は、「ふるさとの木」と呼ばれるその土地にあった樹種を選定するため樹木の生長が速く、共存共栄する森をつくります。

「ふるさとの木」は、十数年ほどで2階建ての建物くらいの高さに育つ一方で、将来は強風などの自然災害から地域の財産を守る立派な「ふるさとの森」になることでしょう。

※宮脇昭(あきら)さん…これまで国内外1700か所で4000万本の木を植え、環境界のノーベル賞といわれる「ブループラネット賞」を日本人で初めて受賞。

修学旅行や交流会などを開催予定 「せたな町高齢者大学」入学式

5月21日（火）、ふれあいプラザで平成25年度「せたな町高齢者大学入学式」が行われました。

この入学式は、「北檜山いきがい学園」、「大成くおん大学」、「瀬棚寿大学」の3区の高齢者大学の合同で開催したもので、今年の入学者は、北檜山いきがい学園4名、瀬棚寿大学1名の合わせて5名で、在校生は3区合わせて110名となりました。

入学式の後、「健康と出会いで、人生楽しく」というテーマで、開講式記念講演会が行われました。講師は、人形劇歴20年以上で現在は人形劇団「てぶくる」を主催している滋賀県出身の鈴木幸子さんで、愉快的人形劇や北海道開拓時代の感動秘話などを披露してくれました。

平成25年度は、修学旅行や3区合同レクリエーション交流会、文化祭、異世代交流などさまざまな講座活動があります。入学式後、いきがい学園ではさっそく第1回のクラブ活動がありました。





パトカーにも乗れて大喜び！ 大成保育園で「交通安全教室」

6月12日（水）大成保育園で交通安全教室が行われました。園児のみんなは、せたな警察署大成駐在所の加藤所長さんから「信号の見方」や「横断歩道の渡り方」など、交通安全についてお話を聞いた後、全員で実際に横断歩道を渡り、交通安全について学びました。最後にはパトカーに乗せてもらい、みんな大喜びの様子でした。



自然に広がる花々を観察 貝取潤溪谷で「春の自然観察会」

5月18日（土）、新緑の貝取潤溪谷で春の自然観察会が行われました。

当日は、晴天に恵まれ、幼児から一般までの20人がさわやかな風を受け、講師の北海道自然観察指導員：荒谷瑠美子さんの説明を聞きながら、約3kmの遊歩道を約2時間かけてゆっくりと観察しました。

沿道では、オオサクラソウが花盛りで、ピンク色が参加者の目を楽しませておりました。

また、ニリンソウ・シラネアオイなどが多く見られ、自然に広がる花々の元気な姿に、参加者の笑顔も満開となりました。



Topics



北檜山幼稚園・瀬棚保育所で 海洋環境保全啓発紙芝居を上演

6月5日（水）と6月6日（木）に、瀬棚海上保安署が町内の幼稚園・保育所で海洋環境保全啓発紙芝居の上演を行いました。海上保安庁では、毎年6月を「海洋環境保全推進月間」と定め、「未来に残そう青い海」をスローガンに、海洋環境保全思想を普及させる啓発活動を毎年行っています。瀬棚海上保安署はこれに加えて、6月中、漁業関係者などに対し廃棄物などの取扱いの指導や環境啓発活動も行っており、その一環として今回、海洋環境紙芝居の上演が行われました。

当日は、海上保安庁の仕事について学んだ後、海洋環境をテーマにした紙芝居の上演が行われ、子どもたちは「海にゴミを捨てるとお魚さんたちがいなくなってしまう。」ということを知り、『海にゴミを捨てない』と約束をしました。紙芝居のあとは、海上保安庁のイメージキャラクターである『うみ丸』くんが登場し、子どもたちは、握手をしたり、抱きついたりするなど、大喜びしてふれあっていました。

Topics